

## 完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付: 2023年 4月14日

事業ID: 2022007418

事業名: 愛知県犬山市における「子ども第三の居場所」

団体名: 特定非営利活動法人シェイクハンズ

代表者名: 松本 里美 印

TEL: 0568-61-2971

事業完了E 2023年 3月31日

### ■契約時

事業費総額	:	9,800,000 円
自己負担額	:	0 円
助成金額	:	9,800,000 円

■箇所は【フォーム】収支計算書より自動転記

### ■事業完了時

事業費総額	:	9,402,509 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	509 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	9,402,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	398,000 円	(収支計算書の青のセルの値)

## 1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。  
なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

### ■事業内容1

#### (1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1.愛知県犬山市における「子ども第三の居場所」学習支援・生活支援モデルの運営 (1)期間: 2022年4月1日～2023年3月31日(週4日、平日14～22時、土曜10時～14時迄開所) (2)場所: 愛知県犬山市 (3)対象: 家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心に25名 (4)内容: 「子ども第三の居場所」で、子ども一人ひとりに寄り添った学習の支援と、生活習慣の形成。様々な活動や多様な人との出会い・関わりの中で、非認知能力を高め、自己肯定感や向上心が育つような体験を提供する。
---



#### (2)事業完了時の事業内容(実績)

1.愛知県犬山市における「子ども第三の居場所」学習支援・生活支援モデルの運営 (1)期間: 2022年4月1日～2023年3月31日(週4日、平日14時30分～21時、土曜10時～14時迄開所) (2)場所: 愛知県犬山市 (3)対象: 家庭や自身に課題を抱えた小学校低学年を中心に25名(登録実数70名) (4)内容: 「子ども第三の居場所」で、子ども一人ひとりに寄り添った学習の支援と、生活習慣の形成。様々な活動や多様な人との出会い・関わりの中で、非認知能力を高め、自己肯定感や向上心が育つような体験を提供した。農作業/1泊2日キャンプ、造形教室など
---

#### (3)成功したこととその要因

①登録人数が当初の予定を超えた事については、学校での募集が有効だった事、外国人の口コミでの応募が多く、これまでの活動がベースにあったこと。 ②コロナ禍でかなりの活動が制約されてきたが、スタッフ一丸での危機管理のもと、2日だけの閉所で、居場所を提供できた事、できる限り野外体験の機会を作り、子ども達の楽しみを守ることができた。③多様なスタッフで、学習や体験を提供できた。
---

#### (4)失敗したこととその要因

①学習支援について/参加人数が多く、スタッフの数が不足しがちだったこと。ボランティアスタッフの定期的なシフトがむづかしいので、一人ひとりの学習の課題に、じっくりと取り組めなかった感がある。
--

#### (5)事業内容詳細

別途、簡易な報告書を作成中。また、次年度4月中旬に、報告会を行政関係各課・教育委員会・市議会議員を対象に、開催予定。
--

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

1.運営事業実施に際し、4月15日までに関係各所(自治体・学校等)への事業説明会を実施する。  
 2.2023年3月31日までに利用児童数を25名にする。  
 3.ボランティア等の地域住民や、行政、学校との関係を構築する。  
 4.子どもの「経験の不足」を解消するようなイベントを事業期間内に、4回以上実施する。

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	470	文字数チェック	OK
1.自治体への説明会は、個別に、各課(地域協働課・子ども未来課・学校教育委員会)を回り、事前に説明でき、特に募集パンフレットについては、新1年生に全員配布の約束を頂けた。学校関係は、4月5日の校長会に出席し、時間を頂き、説明会とした。 2.利用児童数については、現在70名で、達成できた。 3.関係性の構築について。行政については、地域協働課・子ども未来課には、不定期だが懇談ができ、各事業の報告や施設利用などについて、話し合うことができた。地域住民には、SNSで報告や紹介を繰り返し、物品提供やボランティア希望等の申し出が多くあった。ただ、学校教育課との懇談が、ほぼできなかった。当該各学校の担任等へは、その子の学習内容や生活等、電話での連絡に努めた。また、階下の児童センターとは、子どもが行き来し、密な関係性ができ、次年度は、協働事業が持ち上がっている。 4.体験イベントについて。年間10回以上を達成。農業体験(苗植え、畝づくり、収穫等)は、毎月ほぼ1回以上。レッドムーン鑑賞会、多文化・防災キャンプ、大学訪問などを実行できた。			

※700文字を  
文字数チェ  
入力セル

### 3.事業実施によって得られた成果

- ①登録数が25名をはるかに超えていること、低学年参加者が 名で、犬山市での子ども達の居場所として、認知された感がある。行政や地域の方からも、不登校や問題を抱えている子等の相談や参加の打診が数件あり、面談の結果、特に9月以降、居場所「にじいろ寺子屋」に参加する生徒が増えた。このようなことから、学校との連携もでき、今後も一層の連携体制が望めるようになった。
- ②放課後の学習習慣が、身に付いた児童生徒が多い。放課後すぐに、積極的に学習に取り組む姿勢が見受けられ、結果、中3の高校受験の結果、100%【4人全員】が希望校に合格できた。
- ③外国人児童の場合、初期の日本語指導の必要な子どもが増加し、教科学習とは別に、日本語指導のプログラムを持つ事ができ、教科学習にも反映できた。
- ④低学年の衛生面の習慣では、コロナ禍の影響もあり、手洗いや、うがい習慣がきちんと身に付いた。

### 4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応策

- ①学習時の姿勢の悪さが目立ち、3年生くらいでの眼鏡着用の子が増加。今後、学習時の姿勢に注意を払っていく。
- ②子ども食堂を週2日設けた事で、子ども達の家庭での食生活の課題が見つかった。偏食・野菜嫌いが極端な子が多く（外国籍の場合は、食文化の違いなどもあり、指導が難しいが）、今後、メニュー等でも工夫を凝らしていく必要と、今後、農作業を通じた食育を考えていく。
- ③外国籍の子どもの成績向上は、短期間では難しく、日本語指導と並行して行い、同時に、学校との連携が必須になってくるので、来年度以降、学校との連携で、寄り添い方の共有に、一層力を入れていく。
- ④発達支援の必要な子どもに対しても同様で、放課後児童サービス機関との連携も必要になってくる。
- ⑤困難を抱える家庭の子や、自身に困難を抱える子に対して、きめ細かな寄り添いの為には、スタッフ配置や担当など、改善が必要。また、スタッフの研修も多く必要となるので、研修の参加率も増やしていきたい。
- ⑥上記すべてを念頭に入れ、子どもの自己肯定感を高めるため、努力が必要。

### 5.事業成果物

#### (1)助成契約書記載の成果物名称

助成契約書記載の成果物名称を転記してください。  
事業完了報告書

#### (2)事業完了時の成果物名称

実際に作成した成果物の名称を記載してください。  
※チラシ、ポスター等の印刷物については  
作成枚数を追記いただけますようお願いいたします。

- ・事業完了報告書
- ・募集チラシ 3000枚
- ・キャンプ募集チラシ 500枚
- ・大学見学「大学へ行こう！」



#### (3)未作成となった要因

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載してください。  
完了報告書：紙ベースの報告書よりも、対面での報告会の形でじっくり開き、本事業の必要性をより知ってもらいたいと考え、行政の担当課に相談したところ、行政が落ち着く4月下旬～5月中旬なら、関係各課・教育委員会などへ出席依頼を出せるので、との返事を頂いたので、5月に報告会を企画している。

#### (4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ [https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra\\_gui\\_01-1.pdf](https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra_gui_01-1.pdf)（なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップロードをお願いいたします。）

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100070493921821>  
<https://shake-hands.jp/>  
上記で登録したURLをご記載ください。





ソク欄に「700文字を越えています。700文字以内になるようご調整ください。」と表示され